

現A棟(外来棟)建替えにあたり、医大附属病院が今後担うべき役割や機能の方向性について、「新A棟整備基本構想」として取りまとめた。基本構想確定後、基本計画(運営計画や施設整備計画等)を詳細に検討し、設計及び建設工事を経て、令和13年度の竣工を目指す。

### 1. 新A棟整備の基本方針

- 新A棟建設は単なる外来棟建替えではなく、将来当院が担うべき機能を効率よく発揮するため、既存棟も含めた機能の再編と最適化を図るもの。
- 県民の最終ディフェンスラインであり続けるとともに、健康寿命の延伸に寄与し、患者と職員に寄り添った施設とする。

### 2. 新A棟整備のコンセプト

新A棟では、下記のコンセプトにより安全で質の高い医療・教育を提供できる病院の実現を図る。



#### 【コンセプトの詳細】

#### 【I. 医療機能の充実】

- 外来機能の適正化・強化
- 患者を中心に考えた環境・動線の整備
- 外来低侵襲治療の強化
- 感染症対策の強化
- 救急医療提供体制の強化
- 災害時医療提供体制の強化
- 地域医療需要の変化への対応

#### 【II. 地域貢献の強化】

- 県民の健康増進・予防医学の充実
- 地域の医師・医療従事者に対する教育機能の強化
- 地域連携機能の強化・在宅医療支援機能の強化

#### 【III. より良い環境の整備】

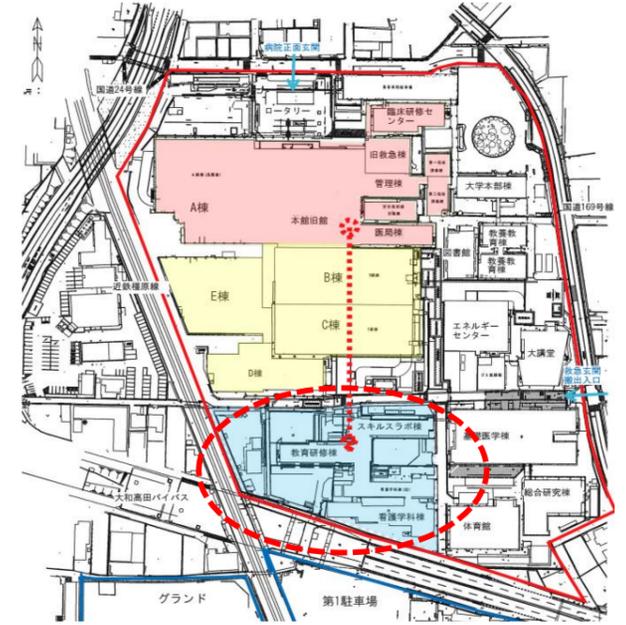
- 患者満足度の一層の向上
- より良い労働環境の構築

#### 【IV. 教育・研究機能の充実】

- 教育機能の充実
- 地域の医師・医療従事者に対する教育機能の強化(再掲)
- 研究機能の充実
- 産学連携機能の強化

### 3. 新A棟建設候補地

新A棟新築整備の建設想定エリアは、敷地形状のまとまり、既存棟との近接性を考慮し、現教育研修棟、スキルスラボ棟、看護学科棟跡とする。



### 4. 継続して取り組む課題

今後基本計画段階においてはさらに具体的に検討し、計画を具体化。継続して取り組む課題は以下を想定している。

- ①新A棟に必要な機能及び運用面をより具体的に検討。
- ②既存棟の改修を含めた全体最適のマスタープランづくり。
- ③31m高度地区の緩和の検討。
- ④場内の里道・水路の整理。
- ⑤新駅整備及び医大周辺まちづくりの検討に合わせた整備。

### 5. 事業スケジュール(予定)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
新A棟整備計画	基本構想		基本計画		基本・実施設計						
新A棟予定地 (教育研修棟・スキルスラボ棟・看護学科棟)				移転	解体・土壌汚染調査 発掘調査		建設			竣工 移転	
新キャンパス整備		先行整備建設		竣工							